



2020年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月10日

上場会社名 助川電気工業株式会社
 コード番号 7711 URL <http://www.sukegawadenki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小瀧 理
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 深澤 優
 定時株主総会開催予定日 2020年12月17日 配当支払開始予定日 2020年12月18日
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月18日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0293-23-6411

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期の業績(2019年10月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	3,123	27.0	15		10		13	
2019年9月期	4,279	7.1	244	47.8	247	47.8	173	41.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	2.22		0.4	0.2	0.5
2019年9月期	29.49		4.8	3.8	5.7

(参考) 持分法投資損益 2020年9月期 百万円 2019年9月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	6,010	3,367	56.0	573.83
2019年9月期	6,444	3,567	55.4	607.86

(参考) 自己資本 2020年9月期 3,367百万円 2019年9月期 3,567百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	416	215	219	659
2019年9月期	241	224	40	678

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期		15.00		14.00	29.00	170	98.3	4.8
2020年9月期		15.00		14.00	29.00	170		4.9
2021年9月期(予想)		12.00		12.00	24.00		234.7	

3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,798	11.1	65		65		43		7.33
通期	3,574	14.4	93		94		60		10.22

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期	5,870,000 株	2019年9月期	5,870,000 株
期末自己株式数	2020年9月期	1,520 株	2019年9月期	1,520 株
期中平均株式数	2020年9月期	5,868,480 株	2019年9月期	5,868,507 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14
(2) 役員の異動	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度は、エネルギー関連製品及び産業システム関連製品とも前期に比し需要低迷が予想される中、期前半は、計画を上回る状況で推移いたしました。しかしながら、3月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた経済活動の自粛等の影響により企業活動が制限された状況の下、Web会議、テレワーク等の積極的な活用により受注の確保および生産性の維持に取り組むとともに、業績を勘案し役員報酬等の減額を行いました。顧客企業における計画の延期および中止等の影響もあり、全体的に低調に推移いたしました。

この結果、売上高は31億2千3百万円（前年同期比27.0%減）、営業損失は1千5百万円（前年同期は2億4千4百万円の営業利益）、経常損失は1千万円（前年同期は2億4千7百万円の経常利益）、当期純損失は1千3百万円（前年同期は1億7千3百万円の当期純利益）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

エネルギー関連事業におきましては、核融合関連製品の増加がありましたが、研究機関向け軽水炉関連製品および韓国向けFBR関連製品の減少等が大きく、売上高は13億3千8百万円（前年同期比27.9%減）、セグメント利益（営業利益）は1億3千6百万円（前年同期比45.0%減）となりました。

産業システム関連事業におきましては、半導体製造装置関連製品は比較的堅調に推移しましたが、FPD製造装置関連製品等の減少が大きく、売上高は16億4千万円（前年同期比27.2%減）、セグメント利益（営業利益）は1億2千1百万円（前年同期比62.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

総資産は、前事業年度末に比べ4億3千3百万円減少し、60億1千万円となりました。これは主に建物が増加した半面、電子記録債権および仕掛品が減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ2億3千3万円減少し、26億4千3百万円となりました。これは主に支払手形および電子記録債務等の仕入債務、および役員退職慰労引当金が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ1億9千9百万円減少し、33億6千7百万円となりました。これは主に、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前事業年度末に比べ1千9百万円減少し、6億5千9百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、4億1千6百万円（前年同期は2億4千1百万円の減少）となりました。これは主に、仕入債務の減少（△108百万円）があった一方、売上債権の減少（385百万円）および減価償却費の計上（168百万円）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、2億1千5百万円（前年同期は2億2千4百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（△213百万円）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、2億1千9百万円（前年同期は4千万円の増加）となりました。これは主に、配当金の支払額（△169百万円）によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期
自己資本比率	57.9	53.7	54.6	55.4	56.0
時価ベースの自己資本比率	57.5	64.1	79.1	59.5	62.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	8.2	3.8	2.0	—	3.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ	9.9	26.5	51.2	—	31.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、キャッシュ・フローの利息の支払額を使用しております。

※ 2019年9月期は営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスであるため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

産業システム関連分野につきましては、FPD製造装置関連の設備投資需要の減退による調整局面が続いておりますが、IoT、AI、5Gに伴う情報通信技術の用途の広がりを背景とした投資がおこなわれています。加えて、テレワーク、オンライン授業、動画配信サービス利用の増加等による需要の高まりもあり、半導体製造装置市場は拡大基調へ向かうものと見込んでおります。

エネルギー関連分野につきましては、ITER（国際熱核融合実験炉）計画と並行して行われているJT-60SA（核融合超伝導トカマク型実験装置）の統合試験運転が開始される予定であり今後も関連案件の需要が見込まれます。

また、低炭素社会にむけて、核融合炉の液体ブランケット材としてリチウムなどの溶融金属、蓄熱材あるいは冷却材等としての利用が期待される溶融塩等の研究開発が進むものと思われ、当社におきましても本年完成した溶融金属試験棟において関連機器等の開発を進めてまいり所存であります。

次期の業績見通しといたしましては、売上高35億7千4百万円、営業利益9千3百万円、経常利益9千4百万円、当期純利益6千万円と予想しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要課題の一つとして位置づけており、毎期の業績、財政状態を勘案しつつ、優先的に安定した年2回の剰余金の配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、厳しい状況ではありましたが、上記方針のもと、前期と同額の1株当たり14円とし、中間配当15円と合わせ、年間配当は29円となる見込みであります。

なお、次期の配当につきましては、中間配当12円、期末配当12円、年間配当24円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

財務諸表は、会社法上の分配可能額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることを鑑み、当社は会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当事業年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	678,101	659,045
受取手形	159,399	170,078
電子記録債権	402,105	64,172
売掛金	1,442,591	1,384,161
有価証券	—	30,152
商品及び製品	259,159	261,140
仕掛品	364,172	276,460
原材料及び貯蔵品	504,178	519,478
前払費用	11,243	11,502
その他	7,559	31,865
流動資産合計	3,828,510	3,408,058
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,463,023	2,629,734
減価償却累計額	△1,908,194	△1,957,426
建物(純額)	554,829	672,307
構築物	239,122	247,022
減価償却累計額	△209,381	△212,847
構築物(純額)	29,741	34,175
機械及び装置	2,056,143	2,058,297
減価償却累計額	△1,818,322	△1,909,412
機械及び装置(純額)	237,821	148,885
車両運搬具	7,707	7,707
減価償却累計額	△7,618	△7,650
車両運搬具(純額)	89	56
工具、器具及び備品	247,949	251,825
減価償却累計額	△232,492	△243,486
工具、器具及び備品(純額)	15,456	8,338
土地	854,844	854,844
リース資産	46,116	46,116
減価償却累計額	△36,204	△39,216
リース資産(純額)	9,911	6,899
建設仮勘定	60,500	72,156
有形固定資産合計	1,763,193	1,797,663
無形固定資産		
借地権	29,919	29,919
ソフトウェア	30,821	23,024
リース資産	12,968	10,055
無形固定資産合計	73,709	62,999

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当事業年度 (2020年9月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	366,788	318,286
出資金	90	90
長期貸付金	92,000	87,000
長期前払費用	6,810	9,864
保険積立金	103,354	107,770
繰延税金資産	189,599	199,993
その他	20,171	19,010
投資その他の資産合計	778,813	742,014
固定資産合計	2,615,717	2,602,677
資産合計	6,444,227	6,010,736
負債の部		
流動負債		
支払手形	147,454	98,416
電子記録債務	141,199	101,615
買掛金	173,076	153,278
短期借入金	690,000	690,000
1年内返済予定の長期借入金	20,040	3,340
1年内償還予定の社債	28,000	428,000
リース債務	6,399	5,268
未払金	7,446	3,895
未払費用	170,075	141,887
未払法人税等	14,539	10,294
未払消費税等	12,550	37,407
前受金	—	5,275
預り金	2,911	2,620
前受収益	1,450	1,741
賞与引当金	76,370	71,559
設備関係支払手形	17,633	—
流動負債合計	1,509,147	1,754,600
固定負債		
社債	772,000	344,000
長期借入金	3,340	—
リース債務	18,310	13,042
退職給付引当金	209,537	195,230
役員退職慰労引当金	356,554	327,165
資産除去債務	8,100	8,100
その他	—	1,066
固定負債合計	1,367,841	888,604
負債合計	2,876,989	2,643,204

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当事業年度 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	921,100	921,100
資本剰余金		
資本準備金	653,236	653,236
その他資本剰余金	1,317	1,317
資本剰余金合計	654,553	654,553
利益剰余金		
利益準備金	138,000	138,000
その他利益剰余金		
別途積立金	1,350,000	1,350,000
繰越利益剰余金	484,124	300,919
利益剰余金合計	1,972,124	1,788,919
自己株式	△923	△923
株主資本合計	3,546,855	3,363,650
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,382	3,881
評価・換算差額等合計	20,382	3,881
純資産合計	3,567,238	3,367,531
負債純資産合計	6,444,227	6,010,736

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,279,445	3,123,645
売上原価		
製品期首たな卸高	23,351	44,182
当期製品製造原価	3,320,451	2,527,490
合計	3,343,802	2,571,672
製品期末たな卸高	44,182	66,429
売上原価合計	3,299,620	2,505,243
売上総利益	979,825	618,402
販売費及び一般管理費	735,383	633,818
営業利益又は営業損失(△)	244,441	△15,416
営業外収益		
受取利息	2,312	2,202
有価証券利息	1,495	1,538
受取配当金	6,287	6,510
投資有価証券売却益	4,691	—
固定資産賃貸料	2,475	2,493
その他	4,240	7,182
営業外収益合計	21,501	19,927
営業外費用		
支払利息	9,224	9,159
社債利息	2,876	3,828
社債発行費	5,300	—
その他	1,072	1,650
営業外費用合計	18,473	14,637
経常利益又は経常損失(△)	247,469	△10,126
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	247,469	△10,126
法人税、住民税及び事業税	63,399	6,059
法人税等調整額	10,979	△3,166
法人税等合計	74,378	2,892
当期純利益又は当期純損失(△)	173,090	△13,019

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	921,100	1,164,236	73	1,164,309	138,000	1,350,000	481,221	1,969,221
当期変動額								
剰余金の配当							△170,187	△170,187
当期純利益							173,090	173,090
自己株式の取得								
自己株式の消却			△509,755	△509,755				
準備金から剰余金への振替		△511,000	511,000					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	△511,000	1,244	△509,755	—	—	2,903	2,903
当期末残高	921,100	653,236	1,317	654,553	138,000	1,350,000	484,124	1,972,124

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△510,651	3,543,979	47,735	47,735	3,591,714
当期変動額					
剰余金の配当		△170,187			△170,187
当期純利益		173,090			173,090
自己株式の取得	△27	△27			△27
自己株式の消却	509,755				
準備金から剰余金への振替					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△27,352	△27,352	△27,352
当期変動額合計	509,728	2,876	△27,352	△27,352	△24,475
当期末残高	△923	3,546,855	20,382	20,382	3,567,238

当事業年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
						別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	921,100	653,236	1,317	654,553	138,000	1,350,000	484,124	1,972,124
当期変動額								
剰余金の配当							△170,185	△170,185
当期純利益							△13,019	△13,019
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△183,205	△183,205
当期末残高	921,100	653,236	1,317	654,553	138,000	1,350,000	300,919	1,788,919

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△923	3,546,855	20,382	20,382	3,567,238
当期変動額					
剰余金の配当		△170,185			△170,185
当期純利益		△13,019			△13,019
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			△16,501	△16,501	△16,501
当期変動額合計	—	△183,205	△16,501	△16,501	△199,706
当期末残高	△923	3,363,650	3,881	3,881	3,367,531

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	247,469	△10,126
減価償却費	177,254	168,536
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△597	△4,811
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,999	△14,307
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	24,679	△29,388
受取利息及び受取配当金	△10,094	△10,251
支払利息及び社債利息	12,101	12,987
有形固定資産除売却損益 (△は益)	5	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△230,784	385,684
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△63,738	70,429
仕入債務の増減額 (△は減少)	△214,411	△108,419
有価証券評価損益 (△は益)	—	△495
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,691	904
前受金の増減額 (△は減少)	—	5,275
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,902	△5,415
その他の負債の増減額 (△は減少)	△47,455	△8,154
その他	341	△7,679
小計	△108,824	444,768
利息及び配当金の受取額	10,095	10,248
利息の支払額	△12,140	△13,162
保険金の受取額	—	—
損害賠償金等の支払額	—	—
法人税等の支払額	△135,574	△33,409
その他	4,850	7,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	△241,592	416,123
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5,655	△27,837
投資有価証券の売却及び償還による収入	5,400	22,049
有形固定資産の取得による支出	△200,093	△213,501
無形固定資産の取得による支出	△29,300	—
貸付けによる支出	—	△1,000
貸付金の回収による収入	5,135	5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,513	△215,289
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,250,000	2,250,000
短期借入金の返済による支出	△2,200,000	△2,250,000
長期借入金の返済による支出	△25,336	△20,040
社債の発行による収入	194,700	—
社債の償還による支出	—	△28,000
自己株式の取得による支出	△27	—
配当金の支払額	△169,007	△169,410
その他	△9,654	△2,439
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,674	△219,889
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△425,431	△19,055
現金及び現金同等物の期首残高	1,103,533	678,101
現金及び現金同等物の期末残高	678,101	659,045

- (5) 財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、受注別の包括的事業戦略を立案可能な管理体制とし、事業活動を展開しております。従いまして、当社は、「エネルギー関連」、「産業システム関連」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの概要は次のとおりであります。

- (1) エネルギー関連……………主要な製品は、原子力・火力発電所の温度制御関係及び研究機関の安全性確認試験装置に使用されています。
- (2) 産業システム関連……………主要な製品は、鉄鋼・自動車・半導体・液晶等の製造装置の「熱と計測」に関する部分に広く使用されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、セグメント間の内部売上高及び振替高はありません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	エネルギー 関連	産業 システム 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,855,870	2,252,567	4,108,438	171,007	4,279,445	—	4,279,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,855,870	2,252,567	4,108,438	171,007	4,279,445	—	4,279,445
セグメント利益(注3)	248,130	326,023	574,154	2,683	576,838	△332,396	244,441
セグメント資産	2,485,415	2,694,416	5,179,831	76,439	5,256,271	1,187,956	6,444,227
その他の項目							
減価償却費	61,943	95,646	157,590	1,991	159,581	17,672	177,254
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	44,307	106,125	150,433	—	150,433	4,524	154,957

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△332,396千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額、その他の項目の減価償却費の調整額は全社資産に係るものであります。

3 セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	エネルギー 関連	産業 システム 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,338,246	1,640,707	2,978,954	144,691	3,123,645	—	3,123,645
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,338,246	1,640,707	2,978,954	144,691	3,123,645	—	3,123,645
セグメント利益又は損失 (△) (注3)	136,573	121,909	258,483	△7,101	251,381	△266,797	△15,416
セグメント資産	2,181,819	2,602,524	4,784,344	88,183	4,872,528	1,138,207	6,010,736
その他の項目							
減価償却費	60,371	93,462	153,833	2,060	155,893	12,643	168,536
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	171,335	5,281	176,616	3,723	180,339	300	180,639

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおりません。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△266,797千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額、その他の項目の減価償却費の調整額は全社資産に係るものであります。

3 セグメント利益又は損失は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	607.86円	573.83円
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)	29.49円	△2.22円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2019年9月30日)	当事業年度 (2020年9月30日)
貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	3,567,238	3,367,531
普通株式にかかる純資産額(千円)	3,567,238	3,367,531
貸借対照表の純資産の部の合計額と1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式に係る事業年度末の純資産額との差額(千円)	—	—
普通株式の発行済株式数(株)	5,870,000	5,870,000
普通株式の自己株式数(株)	1,520	1,520
1株当たり純資産額額の算定に用いられた普通株式の数(株)	5,868,480	5,868,480

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)		
当期純利益金額又は当期純損失金額(△)(千円)	173,090	△13,019
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額又は 当期純損失金額(△)(千円)	173,090	△13,019
普通株式の期中平均株式数(株)	5,868,507	5,868,480

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当事業年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前期比 (%)
エネルギー関連	1,343,659	63.8
産業システム関連	1,576,434	75.0
その他	3,494	99.3
合計	2,923,588	69.4

- (注) 1 その他のうち飲食店は記載しておりません。
 2 金額は、販売価格によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当事業年度の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前期比 (%)	受注残高 (千円)	前期比 (%)
エネルギー関連	1,684,966	132.3	1,081,843	147.2
産業システム関連	1,815,589	98.6	674,636	135.0
その他	3,494	99.3	—	—
合計	3,504,050	112.3	1,756,480	142.2

- (注) 1 その他のうち飲食店は、一般消費者へ直接販売する飲食事業を行っておりますので、記載しておりません。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当事業年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前期比 (%)
エネルギー関連	1,338,246	72.1
産業システム関連	1,640,707	72.8
その他	144,691	84.6
合計	3,123,645	73.0

- (注) 1 主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合

相手先	前事業年度		当事業年度	
	販売高 (千円)	割合 (%)	販売高 (千円)	割合 (%)
㈱シンワバネス	257,194	6.0	437,769	14.0

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

退任予定取締役

取締役 櫻井 辰男

③ 退任予定日

2020年12月17日